

B-38 婦人用ナイロンストッキングの染色堅ろう度に関する研究 II  
—ナイロンの熱処理による影響を主として—

大妻女大家政 加藤 敏子

1. ウーリーナイロン糸の染色堅ろう度がマルチフィラメントナイロン糸よりも弱いことを前回報告した。今回は数種の分散染料を用い、熱処理を施した試糸も加えて、ナイロン糸の染色性と染色堅ろう度を究明し、あわせて分散剤の影響も調べる目的で行なった。

2. 試料(1) 糸 (a)マルチフィラメントナイロン糸, (b) (a)を熱処理 ( $183^{\circ}\text{C}$  0.82 sec) したもの, (c) ウーリーナイロン糸 ((a)にウーリー加工: 仮撚り式  $183^{\circ}\text{C}$  0.82 sec 処理を施したもの) (2) 染料 アゾ系, アントラキノン系分散染料数種をエタノールで再結晶法により精製して使用 (3) 分散剤には非イオン界面活性剤, 陰イオン界面活性剤を使用。

方法 試験糸の染色性を調べ、耐光・洗たく堅ろう度を JIS 規格により測定した。また、分散剤の種類と使用量が、染色性および染色堅ろう度にいかに影響するかを研究した。

3. ウーリーナイロン糸の耐光、洗たく堅ろう度は他の試料に比較して弱い。ナイロン糸の染色性および染色堅ろう度につき考察し、分散剤の影響などについて報告する。